

芸

四年 筆順 兼芸
画数 7
オシ ゲイ
成り立ち



雲（年86）の形を表した「云」と、草の形と意味を表した「艸」とを組み合わせて作った字で、「草や木をうえかえてそだてる」と表した字です。例園芸。

雲が自由に空をとぶように、草や木を好きな所にうつしかえることで、「草木を栽培する」ことですが、それに「技術」がりますので、「技術（わざ）」という意味に使われるようになりました。例技芸、武芸。

また、「遊芸」の意味にも使われます。例芸能人、演芸。

〔旧字体は「藝」で、本字は、「執」である。執は、人が道具を持った形の「丸（丸）」に木と土とを加えた会意字で、人が道具を使い、木や土の手入れをすることを表した字である。芸は「除草」が本義の字である。〕

欠

四年 固数 4
筆順 オンケツ
画数 4
クン か||く||ける
成り立ち



「歌（年93）」や「飲（年255）」や「次（年313）」の「欠」で、「人が口を大きく開けた」形を表した字で、「あくび」をすること」を表した字です。それで、むかしは「あくび」という意味の字でした。

あくびは、頭に酸素が「かけている」時に起きるものですから、今では「かける（足りない）」という意味に使われています。例欠乏、欠陥、欠点。

〔旧字体は、「缺」で、その略字として使われた「夬」が、「欠」に似ていたため、誤って使われたもの。欠の音はケンである。缺は「かめの形を表した缶と、決との会意・形声字」で、「缶」が「かける」という意味の字である。〕

▽わたしのおじいちゃんは、園芸が趣味です。いくつも鉢に、いろいろな木を植えて、せっせと水や肥料をやっています。

▽ぼくの犬は、ちょっとした芸ができます。おすわりや、ちゃんともちろん、投げたものを取つて来ることもできます。犬に芸を仕込むのは、おもしろいと思います。

▽わたしの犬は、ちょっとした芸ができます。いくつも鉢に、いろいろな木を植えて、せっせと水や肥料をやっています。

▽園芸（木や草花や野菜を育てたり、庭をつくったりすること）

▽技芸（技術。とくに、美術や工芸の技術を言います）

「あの人、織物の技芸にすぐれている」などというふうに、つかいます。

▽武芸（武道の技術。剣術や馬術などのことを言います）

▽手芸（手をつかつて行う技芸。編物やししゅうなどのことを言います）

▽演芸（人に演じて見せる芸。芝居や落語や漫才などのことを言います）

△使い方
△ぼくの欠点は、短気なことです。おとうさんが言うことをきいてくれなかつたりすると、すぐカツとしてしまいます。ほかにも、いろいろ欠点がありますが、で

きるだけなおしたいと思ひます。

△わたしは、今日、かぜをひいて、学校を欠席してしまいました。

△熟語例

△欠乏（不足すること。欠けて足りなくなること。「資金が欠乏して、事業ができなくなつた」などというふうに、つかいます。）

△欠陥（欠けて、完全でないもの。「欠陥商品」といえば、どこか欠点があつて完全でない商品のことです。）

△欠点（欠けて、不十分な所。短所）

△欠席（学校を休むこと。また、出るべき席へ出ないこと。例「出席」）

△欠勤（勤めを休むこと。「おとうさんは、病気で会社を欠勤した」などというふうに、つかいます。）